



特集



地域で“生きる”“暮らす” を支える看護連携の深化

2018 年度診療報酬・介護報酬同時改定を見据えて

来年、6年に一度の診療報酬・介護報酬の同時改定が予定されています。国は「2025年に向けた医療・介護需要の地域差を伴う急速な増大に対応するための提供体制の整備に要する期間等を勘案すると、同時改定は、2025年までに大きく舵を切ることができる実質的に最後の機会であり、非常に重要な分水嶺である」としています。

そこで本特集では、同時改定や2025年を見据えながら、地域で生活する人々の“生きる”“暮らす”を支えるための病院と地域・在宅との質の高い看護連携のありようと、それを支える連携体制や看護技術・ケアへの適切な評価のあるべき姿について考察します。

